#### 様式第二号の八(第八

条の四の五関係)

(第1面)

#### 産業廃棄物処理計画書

令和5年 6月16日

千葉県知事 熊谷 俊人 殿

提出者

住所 東京都台東区北上野2-23-5 住友不動産上野ビル2号館 氏名 (株) NIPPO 関東第二支店 執行役員 支店長 丹 晴彦 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 03-4582-1062 担当課;環境安全G

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	業場の名称	(株)NIPPO 関東第二支店 千葉統括事業所
事	業場の所在地	千葉県千葉市稲毛区長沼原町652
計	画 期 間	令和5年4月1日から令和6年3月31日
当記	亥事業場において現に行	っている事業に関する事項
	①事業の種類	大分類:建設業 中分類:総合工事業 小分類:舗装工事業
	②事業の規模	前年度の工事売上高:64億3千5百万円
	③従業員数	85人(在籍社員数)
	④産業廃棄物の一連 の処理の工程	別紙-処理工程図

産業廃棄物の処理に係る	管理体制に関する事項		
(管理体制図)			
別紙-廃棄物管理総	且織・体制		
産業廃棄物の排出の抑制	に関する事項		
	【前年度( 4 年度	)実績】 別	紙 続く
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
	排 出 量	9207.0 t	73. 5 t
① 現状	再生路盤工法として 合して新しい路盤に ・発生時に分別を徹底 を行っている。	易合、状況が許す限り老杯 こセメント等を添加したう	えで既設路盤材と混
	【目標】	l I	
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
	排 出 量	9000.0 t	70.0 t
②計画	(今後実施する予定の・プロセスの見直しと 再生利用の促進を図	と改善により、廃棄物の発	生抑制並びに
産業廃棄物の分別に関す	る事項		
①現状	<ul><li>廃プラスチック類、木く</li></ul>	を棄物の種類及び分別に関ず、繊維くず、金属くず、 と設置し、分別に努めてい	、ゴムくずはそれぞれ
②計画	・建設混合廃棄物の乳	D産業廃棄物の種類及び分 を生場所での分別を徹底す て、再生可能物と再生不	<sup>-</sup> る。

	【前年度( 4 年月		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
① 現状	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	4149.0 t	0.0
Jun Jun	(これまでに実施した) ・自社においてがれき とともに、製品販売を	類の中間処理を行い、再	4生品を自社で使用する
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
②計画	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	4000.0 t	0.0
	(今後実施する予定のB・がれき類の処理状況)・自らの再生利用促進を	及び維持管理状況のシステム	管理を徹底する。
ら行う産業廃棄物	の中間処理に関する事項		
	【前年度( 4 年月	<b>要)実績</b> 】	
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0.0 t	0.0
① 現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0.0 t	0.0
	(これまでに実施した! ・なし	取組)	
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	0.0
②計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0.0 t	0.0
	(今後実施する予定のB・なし	取組)	

	埋立処分又は海洋投入処分に	関する事項	
	【前年度( 4 年月	度)実績】	
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
① 現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t
	(これまでに実施したE ・これまでに、自社で ことはない。	取組) 里立処分又は海洋投入処	分を行った
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t
	(今後実施する予定のE・引き続き、埋立処分)	取組) 又は海洋投入する予定は	ない。
業廃棄物の処理の委	託に関する事項		
	【前年度( 4 年月	度)実績】	
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
	全処理委託量	5058.0 t	73. 5 1
	全処理委託量 優良認定処理業者への 処理委託量	5058. 0 t 603. 0 t	73. 5 1
	優良認定処理業者への		0.01
① 現状	優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への 処理委託量	603. 0 t	
① 現状	優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への	603. 0 t 4455. 0 t	73. 5

# (第5面)

		【目標】		
		産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
		全処理委託量	5000.0 t	70.0 t
		優良認定処理業者への 処理委託量	600.0 t	0.0 t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	4400.0 t	70.0 t
		認定熱回収業者への 処理委託量	0.0 t	0.0 t
	②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.0 t	0.0 t
		徹底することにより ・廃プラスチック類の発生 図る。又、再生利用	引処理状況及び維持管理が 、委託処理量の減少を図 事業場での分別を徹底し 引ができる処理業者への認 においても熱回収の認定を	図る。 、委託処理量の減少を 系託を目指すが、
<b>※</b> [	事務処理欄			

#### 備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
- (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成 工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規 模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙-1

	【前年度( 4年度)実績】	ļ			
	産業廃棄物の種類	汚泥	汚泥・廃アルカリ	建設汚泥	木くず
①現	排出量	53.31t	0. 17t	44. 82t	23. 381
	【目標】				
	【目標】	汚泥	汚泥・廃アルカリ	建設汚泥	木くず
②計	産業廃棄物の種類	汚泥 50.00t	汚泥・廃アルカリ 0.20t	建設汚泥 40.00t	木くず 20.00t

	【前年度( 4年度)実績】				
	産業廃棄物の種類	汚泥	汚泥・廃アルカリ	建設汚泥	木くず
①現状	自ら再生利用を行った産業廃 棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
	(これまでに実施した取組) ・なし				
	【目標】				
	産業廃棄物の種類	汚泥	汚泥・廃アルカリ	建設汚泥	木くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄 物の量	0.00t	0. 00t	0.00t	0.00t
I	(今後実施する予定の取組)			<u> </u>	

	【前年度(4年度)実績】				
	産業廃棄物の種類	汚泥	汚泥・廃アルカリ	建設汚泥	木くず
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0.00t	0. 00t	0.00t	0.001
①現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0.00t	0. 00t	0.00t	0.00
	・なし				
	・なし 【目標】				
		汚泥	汚泥・廃アルカリ	建設汚泥	木くず
	【目標】	汚泥 0.00t	汚泥・廃アルカリ 0.00t	建設汚泥 0.00t	de News
②計画	【目標】 産業廃棄物の種類 自ら熱回収を行う				木くず 0.00t 0.00t

	【前年度(4年度)実績】				
	産業廃棄物の種類	汚泥	汚泥・廃アルカリ	建設汚泥	木くず
①現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00
	(これまでに実施した取組) ・なし				
	・なし	汚泥	汚泥・廃アルカリ	建設汚泥	木くず

#### 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

### 【前年度(4年度)実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	汚泥・廃アルカリ	建設汚泥	木くず
全処理委託量	53. 31t	0. 17t	44. 82t	23. 38t
優良認定処理業者への 処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
再生利用業者への 処理委託量	53.31t	0. 17t	44.82t	23. 38t
認定熱回収業者への 処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t

(これまでに実施した取組)

<sup>・</sup>産業廃棄物処理業者の選定、委託にあたっては、あらかじめ支店環境安全品質保証Gにて申請・承認を得た支店登録業者から選定し、委託契約を締結している。

	産業廃棄物の種類	汚泥	汚泥・廃アルカリ	建設汚泥	木くず
	全処理委託量	50.00t	0. 20t	40. 00t	20.
	優良認定処理業者へ の処理委託量	0.00t	0. 00t	0.00t	0.
	再生利用業者への 処理委託量	50.00t	0. 20t	40.00t	20.
②計画	認定熱回収業者への処理委託 量	0.00t	0. 00t	0.00t	0. (
	認定熱回収業者以外の熱回収 を行う業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0. 00 t	0.
	(今後実施する予定の取組) ・発生事業場での分別を徹底し、委託	処理量の低減を図る	0	,	

別紙-2

	【前年度(4年度)実績】				
	産業廃棄物の種類	紙くず	金属くず	ガラス・コンクリート陶磁器くず	廃油
①現状	排出量	4.50t	5.09t	9. 50t	2. 34
	【目標】				
	【目標】 産業廃棄物の種類	紙くず	金属くず	カ゛ラス・コンクリート陶磁器くず	廃油
②計画	(F-0.00006), 1994(000)	紙くず 4.00t	金属くず 5.00t	カ*ラス・コンクリート陶磁器くず 9.00t	廃油

	【前年度( 4年度)実績】				
	産業廃棄物の種類	紙くず	金属くず	ガラス・コンクリート陶磁器くず	廃油
①現状	自ら再生利用を行った産業廃 棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
	(これまでに実施した取組) ・なし				
	【目標】				
	産業廃棄物の種類	紙くず	金属くず	ガラス・コンクリート陶磁器くず	廃油
	自ら再生利用を行う産業廃棄 物の量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
②計画	(今後実施する予定の取組) ・なし	1			

	【前年度(4年度)実績】				
	産業廃棄物の種類	紙くず	金属くず	ガラス・コンクリート陶磁器くず	廃油
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00
①現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00
	【目標】				
	【目標】 産業廃棄物の種類	紙くず	金属くず	ガラス・コンクリート陶磁器くず	廃油
	20 Control of the Con	紙くず 0.00t	金属くず 0.00t	カ*ラス・コンケリート陶磁器くず 0.00t	廃油 0.00
②計画	産業廃棄物の種類自ら熱回収を行う	7			de Nord

	【前年度(4年度)実績】				
	産業廃棄物の種類	紙くず	金属くず	ガラス・コンクリート陶磁器くず	廃油
①現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0. 00t	0.00t	0. 00t	0.00
	・なし				
	【日無】				
	【目標】				
	【目標】 産業廃棄物の種類	紙くず	金属くず	ガラス・コンクリート陶磁器くず	廃油

#### 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

# 【前年度(4年度)実績】

産業廃棄物の種類	紙くず	金属くず	ガラス・コンクリート陶磁器くず	廃油
全処理委託量	4.50t	5. 09t	9. 50t	2.34t
優良認定処理業者への 処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
再生利用業者への 処理委託量	4. 50t	5.09t	9. 50t	2. 34t
認定熱回収業者への 処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t

(これまでに実施した取組)

<sup>・</sup>産業廃棄物処理業者の選定、委託にあたっては、あらかじめ支店環境安全品質保証Gにて申請・承認を得た支店登録業者から選定し、委託契約を締結している。

	産業廃棄物の種類	紙くず	金属くず	ガラス・コンクリート陶磁器くず	廃油
	全処理委託量	4.00t	5. 00t	9. 00t	2.
	優良認定処理業者へ の処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t	0.
	再生利用業者への 処理委託量	4. 00t	5.00t	9.00t	2.
②計画	認定熱回収業者への処理委託 量	0.00t	0.00t	0.00t	0.
	認定熱回収業者以外の熱回収 を行う業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t	0.
	(今後実施する予定の取組) ・発生事業場での分別を徹底し、委託	処理量の低減を図る。			

別紙-3

産業廃棄物	産業廃棄物の排出の抑制に関する事項								
		【前年度( 4年度)実績】							
		産業廃棄物の種類	建設系混合廃棄物	管理型混合廃棄物	アスファルトがら	コンクリートがら			
	①現状	排出量	30. 55t	23. 40t	42, 175. 08t	3, 176. 49t			
		(これまでに実施した取組) ・発生時に分別を徹底し、再生	を前提とした業者選が	定、処理の委託を行っ	っている。				
		【目標】							
		産業廃棄物の種類	建設系混合廃棄物	管理型混合廃棄物	アスファルトがら	コンクリートがら			
	②計画	排出量	30.00t	23.00t	42,000.00t	3, 000. 00t			
		(今後実施する予定の取組) ・プロセスの見直しと改善によ	り、廃棄物の発生抑制	制及びに再生利用の仮	是進を図る。				

自ら行う産	自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項							
		【前年度( 4年度)実績】						
		産業廃棄物の種類	建設系混合廃棄物	管理型混合廃棄物	アスファルトがら	コンクリートがら		
	①現状	自ら再生利用を行った産業廃 棄物の量	0.00t	0.00t	14, 578. 20t	354.00t		
		(これまでに実施した取組) ・なし						
		【目標】						
		産業廃棄物の種類	建設系混合廃棄物	管理型混合廃棄物	アスファルトがら	コンクリートがら		
		自ら再生利用を行う産業廃棄 物の量	0.00t	0.00t	14, 000. 00t	300.00t		
	②計画	(今後実施する予定の取組) ・なし						

自ら行う産	ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項							
		【前年度( 4年度)実績】						
		産業廃棄物の種類	建設系混合廃棄物	管理型混合廃棄物	アスファルトがら	コンクリートがら		
	①現状	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t		
		自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t		
		(これまでに実施した取組) ・なし						
		【目標】						
		産業廃棄物の種類	建設系混合廃棄物	管理型混合廃棄物	アスファルトがら	コンクリートがら		
		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t		
	②計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t		
		(今後実施する予定の取組) ・なし						

自ら行う産	ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項							
		【前年度( 4年度)実績】						
		産業廃棄物の種類	建設系混合廃棄物	管理型混合廃棄物	アスファルトがら	コンクリートがら		
	①現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t		
		(これまでに実施した取組) ・なし						
		【目標】						
		産業廃棄物の種類	建設系混合廃棄物	管理型混合廃棄物	アスファルトがら	コンクリートがら		
	②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t		
		(今後実施する予定の取組) ・なし						

#### 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

### 【前年度(4年度)実績】

産業廃棄物の種類	建設系混合廃棄物	管理型混合廃棄物	アスファルトがら	コンクリートがら
全処理委託量	30. 55t	23. 40t	27, 596. 88t	2, 822. 49t
優良認定処理業者への 処理委託量	0.00t	0.00t	3, 560. 58t	0.00t
再生利用業者への 処理委託量	30. 55t	23. 40t	24, 036. 30t	2, 822. 49t
認定熱回収業者への 処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t

(これまでに実施した取組)

<sup>・</sup>産業廃棄物処理業者の選定、委託にあたっては、あらかじめ支店環境安全品質保証Gにて申請・承認を得た支店登録業者から選定し、委託契約を締結している。

	【目標】					
		産業廃棄物の種類	建設系混合廃棄物	管理型混合廃棄物	アスファルトがら	コンクリートがら
		全処理委託量	30. 00t	23. 00t	28, 000. 00t	2, 700. 00t
		優良認定処理業者へ の処理委託量	0.00t	0.00t	3, 500. 00t	0. 00t
		再生利用業者への 処理委託量	30.00t	23.00t	24, 500. 00t	2,700.00t
②計画		認定熱回収業者への処理委託 量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
		認定熱回収業者以外の熱回収 を行う業者への処理委託量	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
		実施する予定の取組) 事業場での分別を徹底し、委託	処理量の低減を図る。			

別紙-1

産業廃棄物	業廃棄物の排出の抑制に関する事項							
		【前年度( 4年度)実績】						
		産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物					
	①現状	排出量	9.36t					
		(これまでに実施した取組) ・発生時に分別を徹底し、再生	を前提とした業者選	定、処理の委託を行っ	っている。			
		【目標】						
		産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物					
	②計画	排出量	9.00t					
		(今後実施する予定の取組) ・プロセスの見直しと改善によ	り、廃棄物の発生抑	制及びに再生利用の仮	足進を図る。			

		【前年度( 4年度)実績】				
	①現状	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物			
		自ら再生利用を行った産業廃 棄物の量	0.00t			
		(これまでに実施した取組) ・なし			•	
		【目標】				
		産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物			
		自ら再生利用を行う産業廃棄 物の量	0.00t			
	②計画	(今後実施する予定の取組) ・なし			<u>'</u>	-

	【前年度( 4年度)実績】				
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物			
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0.00t			
①現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0.00t			
	【目標】				
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物			
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0.00t			
②計画	産業廃棄物の量	0.00t			
	(今後実施する予定の取組)	2.5	-		

ら行う産	<b>工</b> 産業廃棄物の均	I II立処分又は海洋投入処分に関	する事項		
		【前年度(4年度)実績】			
		産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物		
	①現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0. 00t		
		(これまでに実施した取組) ・なし		,	
		【目標】			
		産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物		
	②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う	0.00t		
	(A)	産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
	【前年度( 4年度)実績】					
	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物				
	全処理委託量	9. 36t				
	優良認定処理業者への 処理委託量	0.00t				
	再生利用業者への 処理委託量	9.36t				
①現状	認定熱回収業者への 処理委託量	0.00t				
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.00t				
	(これまでに実施した取組) ・産業廃棄物処理業者の選定、委託にあたっては、あらかじめ支店環境安全品質保証Gにて申請・承認を得た支店登録業者から選定し、委託契約を締結している。					

	産業廃棄物の種類	安定型混合廃棄物		
	全処理委託量	9.00t		
	優良認定処理業者へ の処理委託量	0.00t		
	再生利用業者への処理委託量	9. 00t		
②計画	認定熱回収業者への処理委託 量	0.00t		
	認定熱回収業者以外の熱回収 を行う業者への処理委託量	0.00t		
	(今後実施する予定の取組) ・発生事業場での分別を徹底し、委託処理量の低減を図る。			

# 廃棄物管理組織•体制

管理組織責任者	所属 千葉統括	f 車 業 所	職・氏名 千葉統括事業所長			
<b>占</b>		も争未が ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				
廃棄物担当組織名		が環境女宝グルーク 043-216-7851	廃棄物担当組織人数 11 人			
	電話番号					
	名 称	千葉統括事業所 廃棄物処理管理委員会				
	概 要	法令、条例、社内規程等に基づいて、産業廃棄物処理に関する 適切な環境保全活動を推進する。 1)建設廃棄物の有効利用(再生資源の利用を促進する。) 2)建設廃棄物の減量化(建設副産物の発生の抑制及び再利用、 また分別して廃棄すること等により最終処分率の低減を図る。) 3)その他の産業廃棄物				
処理計画組織規定		廃棄物処理 統括責任者 (統括事業所 長)	・廃棄物処理に関する活動方針の策定 ・統括事業所管内の管理規程の策定・改廃 ・産廃処理に関する各種事項の決定、承認 ・定期的な環境管理点検による適切な活動の推進			
	(役割)	廃棄物管理 担当部署長 (管内部署所 長)	・部署内廃棄物処理計画の作成 ・廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ・運搬・処理業者の調査、選定及び管理 ・委託契約の締結 ・産業廃棄物管理票の交付、管理 ・部署内従事員、関連会社に対する教育、啓発 ・監督官庁への各種報告(上位部署での報告もあり) ・部署内環境管理点検			
		統括事業所 環境安全担当	<ul><li>・廃棄物処理計画(実施状況報告)のまとめ、作成</li><li>・情報、指示、連絡等の組織内周知徹底</li><li>・統括事業所内環境管理点検による適切な活動の推進</li></ul>			
産業廃棄物対策組約	織図					
本社	代表	長取締役 社長				
		担当役員	红趣棉絲用禾鳥春			
		至	社環境管理委員会			
支店		支店長	支店環境管理委員会			
合材部	工事部 支店環境安全G		営業部 <u>総務部</u>			
統括事業所 廃棄物管理 連絡、	SECURIOR TO SECURIOR	7.	括事業所廃棄物処理管理委員会 財務 指事業 財務 財務 大活事業 大活事 大活事 大活事 大活事 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学			
複数		出 機所 担当部署長 関連会社	数 単独有期事業所 担当部署長 関連会社			

## 処理工程図(1)

出張所 A、B、C他 建設現場 OO市A現場他

